

第12週

質問 31. なぜイエスを「油注がれた者」という意味のキリストと呼ばれるのですか。

答え I なぜなら、その方は父なる神から次のように任職され、聖霊によって油注がれたからです。⁰¹ そのようになさることで、私たちの預言者また教師として、⁰² 私たちの贖いに関する神の隠された御心の実現（経輪）とを余すところなく私たちに啓示してくださいます。⁰³ そして、私たちの唯一の大祭司として、⁰⁴ ご自分の体による唯一の犠牲によって私たちが贖い、⁰⁵ 御父の御前で私たちのために絶えず執り成しをしてくださいます。⁰⁶ また、私たちの永遠の王として、⁰⁷ ご自分の言葉と聖霊とによって私たちが治め、私たちのために獲得なさった救いの喜びにあって私たちが弁護し、保ってくださるのです。⁰⁸

01 詩 45:7（ヘブル 1:9）、イザヤ 61:1（ルカ 4:18）、ルカ 3:21、22.

02 申命記 18:15（使徒 3:22）.

03 ヨハネ 1:18、15:15.

04 詩編 104:4（ヘブル 7:17）.

05 ヘブル 9:12, 10:11-14.

06 ロマ 8:34、ヘブル 9:24, 1 ヨハネ 2:1.

07 ゼカリヤ 9:9（マタイ 21:5）、ルカ 1:33.

08 マタイ 28:28-29、ヨハネ 10:28、黙示録 12:10、11.

① キリストという名は、油注がれたという意味です。これは、救い主の公式的な名です。油注ぎを受けたというのは、職務のために召されたという意味です。ダニエルは、これについてすでに預言しました（ダニエル 9:25-26）。その名は、キリストが誕生なさる時、御使いによって呼ばれました（ルカ 2:11）。そして弟子たちが、イエスさまをキリストと呼び（ヨハネ 1:41）、ペテロは信仰告白の中でそのように呼びました（マタイ 16:16）。またキリストは、よみがえられた後、弟子たちの前でご自身を、その名によって証しました（ルカ 24:26、使徒 9:22）。

② 旧約において油注がれた対象は、預言者たち（1列王 19:16）と、大祭司（出 30:30）と、王の場合です（1サム 10:1、16:2-3, 13、1列王 1:39）。エレミヤ預言者の場合は、預言者と祭司長として召命を受け、ダビデの場合は、預言者と王として召命を受けました。しかし、キリストは預言者と祭司と王の職務として召されました。このように油注ぎを受けるのは、神が彼らに職務を任されたことを確信させることであり、神がその職務のために、必要な聖霊の賜物を供給してくださることを意味します。キリストは油によって油注ぎを受けたのではなく、イエスのバプテスマの時、父なる神から直接、聖霊によって油注ぎを受けられました（マタイ 3:17）。

③ 旧約聖書において預言者は、神によって召命を受け、その民に向かって、悔い改めと生活の改革を叫んだ者たちです。モーセはキリストが預言者と預言をしました（申 18:15）。キリストは父なる神によって、預言者として考案されていて、弟子たちもキリストを預言者と告白しました（使徒 3:22）。

キリストは預言者として神の秘密を私たちに完全に示しました。特に、私たちの救いに関連される神の御心を現わしました。預言者は、神の奥義の実現（経

輪)を部分的に現わしましたが、キリストはすべてを現わしました(ヨハネ1:18、15:15)。神は、その永遠の経輪(実現)の中で、驚く方式によって罪人たちを救いに導きました。しかし罪人たちには、この道が知らされていませんでした。神の中に隠されていて、どの被造物もこれを発見することができませんでした。しかし神の御子が受肉を持って来られて、この驚くべき経輪(実現)を現わしました(ヨハネ1:18、3:34)。

キリストは教えを通して預言者の職務を遂行されました。キリストは律法を教えられ、悔い改めを叫び、神の国を宣布なさいました。キリストはたとえをもって教えますが、その弟子たちには明らかにされるが、信じない者たちには隠されていました。キリストは、神殿を浄化させながら、預言者の職務を担い、エルサレムの滅亡を預言なさいました。そして、将来の神の国について預言なさいました。

キリストは奇跡を通してご自身の神的使命を証しました。外的には福音が叫ばれますが、内的には神の奥義を教え、説明し、御言葉が、霊魂の中に光として入るようになさいました(ルカ24:45、使徒16:14)。キリストは預言者として聖なる生き方を直接、例証なさることで、その教えを確証させ、弟子たちがその足跡に続くようになさいました(1ペテロ2:21-23)。

④ 旧約において祭司の職務は、犠牲のいけにえを捧げ、神の御前で民の代わりとなることでした。大祭司の職務は、年に一度、大贖い日にはすべての者の罪のために捧げ物を捧げることでした。この時、大祭司は、先ず自分の罪のために捧げ物をした後に、至聖所に入ることができます。大祭司は、主の御前に民のために執り成しをしなければなりません。そして、手を挙げ、民を祝福するのが義務でした(レビ記9:22)。

キリストは新しい契約の大祭司です（ヘブル 3:1, 4:14）。キリストは多くの靈魂の罪を赦すために、ご自身の体を持って、犠牲の捧げものとなりました（イザヤ 53:10）。また、キリストは祭司として、父にその民のために執り成し（ヘブル 7:25）、その民を祝福しておられます（民 6:23, 27、ヨハネ 14:17）。

⑤ 王は、神の恵みによって立てられる統治者です。彼は、法に従って国を治め、敵からその民を保護します。キリストは王として、その御言葉と聖霊によって、その民を治め統治します（詩 143:10）。そして、救いの喜びの中にいる民を、その力によって保護し、守ります（マタイ 16:16、1ペテロ 1:5）。

キリストは、私たちの心を続けて更新させ、信仰を強くさせ、私たちを背教から救うまでなさいます（ロマ 8:37、1コリント 1:8）。キリストは王として御国を完成させて行かれ、罪人たちをご自分に屈服させています。そして神の国を完成され、それを父にお渡しになります（1コリント 15:24, 28）。

⑥ 父は、このような職務のためにキリストをこの地に遣わし、キリストに聖霊によって油を注ぎました（ヨハネ 10:36）。キリストの預言者としての職務は、私たちにキリストの言葉を聞かせることで有益があります（マタイ 3:16-17、17:1-3）。また、キリストの祭司としての職務は、私たちの良心が靈的に目覚められるようにさせ、キリストの中で安住する有益を得られます。キリストの王としての職務は、私たちの意志が屈服され、さらに聖化を目指すように有益を得させます。このように、キリストの三重的・職務は、救いのために必要なすべてがキリストの中にあることを悟らせ、ますますキリストを探し求めるようにさせるのです。

質問 32. しかし、なぜあなたが「キリスト」者と呼ばれるのですか。

答え I なぜなら、私は信仰によってキリストの肢体（会員）となったからです。⁰¹従って、その油注ぎにあずかっているからです。⁰²結果的に私はその御名を告白し、⁰³私自身を生きた感謝の献げ物として、この方に献げます。⁰⁴また、この世においては自由な良心をもって罪とサタンに対抗し戦い、⁰⁵後には、キリストと共にとこしえまで、すべての被造物を支配するためです。⁰⁶

① キリスト者は、初めは、信仰者、神の子供、弟子と呼ばれました。しかし、彼らの人数がどんどん増えるにつれ、ついにキリスト者と呼ばれるようになりました（使徒 11:26）⁰⁷。キリスト者という名は、聖霊さまも認められました（1ペテロ 4:16）。彼らの主人であるキリストに従う者には、当然の名だと言えます。この名を持っているという意味は、信じる者は聖霊によって油注ぎを受けられたという意味です（ガラテヤ 4:6、1コリント 1:21-22、1ヨハネ 2:20）。

01 1コリント 12:12-27.

02 ヨエル 2:28（使徒 2:17）、1ヨハネ 2:27.

03 マタイ 10:32、ロマ 10:9-10、ヘブル 13:15.

04 ロマ 12:1、1ペテロ 2:5、9.

05 ガラテヤ 5:16-17、エペソ 6:11、1テモテ 1:18-19.

06 マタイ 25:34、Ⅱテモテ 2:12.

07 聖徒と呼ばれますが、これは、世から区別され、救いと定められている意味を含んでいます（使徒 6:7、ヤコブ 2:15、エペソ 6:18）。

勿論、キリスト者が聖霊によって油注ぎを受けたというのは、キリストの油注ぎとは、程度の差があります。キリストには油注ぎが無限に与えられ（ヨハネ 3:34）、キリスト者たちの油注ぎは、主が喜ばれるままの分量です（1コリント 12:22、エペソ 4:7）、従ってキリスト者と呼ばれるところから、彼らはキリスト者でない者と、はっきり区別されます。キリスト者は、敬虔の姿と力を持ちながら、言葉と行いにおいてキリストに似るために労苦します。

② キリスト者は、預言者たちです（使徒 2:17 - 18）。例外的な職務としての預言者ではなく、彼らの恵みの状態において預言者だということです。キリスト者は預言者として、神からその幸いな神秘の啓示を受けました（エペソ 1:17 - 19）。キリスト者は、キリストによって内的に教えを受けています。彼らは神の神秘によって導かれたりも、聖霊の現われによって確信に留まったりもします（ヨハネ 14:21）。

ますますキリスト者は、預言者として、他の人に神の秘密を教えたり、その御名を見せながら告白します。時にはその御名を賛美し、歌います（コロサイ 3:16）。また、聖なる対話をし、キリストの素晴らしい教理などを賛美します（ピリピ 2:15 - 16）。従って預言者として、キリスト者たちは、正しい教理の知識を持ちながら、聖なる生き方を通して、その真実性を証しし、福音を宣べ伝える努力と、真理に対する弁護を通して、そのアイデンティティを現します。

③ キリストは大祭司として、私たちのために死なれ、贖いの捧げとされました。それに対する私たちの応答は、私たちの肉を殺し、私たちのすべての生活を、感謝のいけにえとして捧げるのです（1ペテロ 2:5）。このような意味からして、キリスト者たちは、また祭司たちです（詩 61:6）。キリスト者は、祭司が

着ていた衣服と同じ、靈的な意味からして衣服を着ています。

一方で、キリスト者は、祭司のように奉仕をします (1ペテロ 2:5)。自分の肉
的性向と欲求などを屈服させ、神の義の道具として捧げるのです。これこそ、
神が受けられるほどの靈的礼拝です (ロマ 12:1)。彼らは、また、祈りによっ
ていけにえを捧げ (詩 119:108、ヘブル 13:5、黙 8:3-4) 愛によって施しもします。そ
れは、神が喜んで受けてくださる供え物だからです (ピリピ 4:18)。

何よりもキリスト者の祭司職務は、1ペテロ 2章 9-10節で、明示しています。
「あなたがたは、選ばれた種族、王である祭司、聖なる国民、神の所有とされ
た民です。それは、あなたがたを、やみの中から、ご自分の驚くべき光の中に
招いてくださった方のすばらしいみわざを、あなたがたが宣べ伝えるためなの
です。あなたがたは、以前は神の民ではなかったのに、今は神の民であり、以
前はあわれみを受けない者であったのに、今はあわれみを受けた者です。」つ
まり、私たちはいつでもキリストにあって神に出て行けるのです。

④ キリスト者は、王のようです (黙 1:6)。王の特権を大切にし、その特権を
使用します。この地で、キリスト者として、王の職務遂行は、敵たちと正義の
戦争をするのです。キリスト者は世と罪と悪魔とに戦争を布告し、それらに克
服し (ゼカリヤ 10:3、5)、罪が、彼らを主管できないようにするので (ロマ 6:14)。
キリスト者たちは、このように靈的戦争を遂行するように定められています。
それで主は、キリスト者たちがこのような戦争に遂行できるように、靈的な武
具によって武装させています (エペソ 6:10-18)。

まことのキリスト者はこのような靈的戦争の時、自分の力を頼らないで主に
全的に依存します。キリスト者は、たとえこの世において貧しくても、王とし
ての豊かさを味わっています。彼らには、真のタイトルがあるからです (黙 3:21)。

キリスト者たちは、王のような品位を持ち、この地において貴い存在です（詩 16:3）。

⑤ キリスト者たちは、油注ぎを受けた者として（Ⅱコリント 1:21）、職務を遂行するように定めを受けました（出 19:6、1 ペテロ 2:9）。従って、このような職務が、キリスト者の表紙として現われるべきであり（黙 8:3-8）、さらに聖霊によって資格を整えさせたので、必ず遂行しなければならないのです（1 ヨハネ 2:20、27）。従ってキリスト者たちは、キリストの油注ぎに参加した者として、聖徒の職務を担わなければなりません。